

年間学習案内

ひまわり



学習のねらい

- ・ 基本的な生活習慣の定着を図ります。
- ・ 基本的な知識を身に付け、自ら考え、行動できる力を育成します。
- ・ 集団生活への適応力を高め、よりよい人間関係を築く力を育成します。
- ・ 体力の向上と、豊かな心の育成をめざします。

指導目標達成のための基本方針

- ①一人一人の児童について、実態を正しく把握して、発達段階に応じた学習内容を計画します。
- ②領域・教科を合わせた学習を取り入れ、教科別学習との関連を図りながら、学習が効果的に進められるように配慮します。
- ③生活に即した具体的・体験的な学習を重視し、生活体験を豊かにするように配慮します。
- ④指導法・教材教具を工夫し、意欲を持ち主体的に学習できるようにします。
- ⑤通常の学級とできるだけ多く交流し、お互いの社会性や人間性をより豊かにしていきます。
- ⑥保護者との密接な連携を図ることで、学習の定着を高め、日々の生活に即した、次なる課題を発見していきます。



学習の方法

ひまわりでは、児童の実態に即した指導を行うために、教科別・領域別の学習以外に、通常学級とは異なる学習の形態を取り、学習内容を組織しています。

(1) 生活単元学習

具体的な生活の体験を、単元の中で計画し、体験し、日常生活の中に生かしながら、見通しを持って生活する力を養います。

(2) 日常生活の指導

将来、自立していく上で、どうしても身に付けていなくてはならないこととして、基本的な生活習慣があります。社会に適応していくためには、集団生活をする上で必要な、挨拶やルールも身に付けなければなりません。これらのことを、日々の活動の中で毎日繰り返すことで定着させていきます。

(3) 自立活動

個々の児童の種々のつまずきの改善・克服を目指します。



学習の評価

ひまわりにおける評価は、児童の人間的な成長を見守り、よりよい生活を目指して、広い視野に立ち、発展的に評価します。数値的な評価は行わず、新たな課題発見への足がかりとします。



家庭へのお願い

児童の指導は、学校の中だけにとどまるものではありません。また、学校と家庭の指導に一貫性がないと子供が混乱するばかりです。家庭と学校の協力がある初めて、指導の効果が期待できます。子供たちのために、手を取り合ってがんばっていきましょう。

